

競争性確保などで問題ありと主張し反対 市役所第1庁舎受変電施設等改修工事の請負契約の締結で橋本議員が討論

6月定例議会は19日、すべての案件の審査を終え、終了しました。議案採決の前に行われた討論には日本共産党議員団から橋本正幸議員が参加しました。日本共産党議員団は、工事請負契約1件のみ反対、あとは賛成しました。以下は橋本議員の討論内容です。

日本共産党議員団を代表して、議案第90号、工事請負契約の締結について、反対の立場から討論を行います。

ご案内のように本案にかかわる工事は、木田第一庁舎

の地下電気室内に設置されている受変電設備（じゅへんでんせつび）の全面改修などであり、極めて重要なものです。契約に先立つ入札には、ユア

テック・城東共同企業体など4つの共同企業が参加しました。しかし、入札を3回実施したにもかかわらず、不調に終わり、3回目の最低価格入札者と随意契約することになりました。



この一連の流れを見ますと、3回にわたる入札で最低価格を入れた共同企業体がいずれも同じという「二位不動」となっており、これは、これまで繰り返し述べてきたように、全国市民オンブズマンなどから「談合の状況証拠」だと言われているものです。しかも、3回目の入札については4つの共同企業体のうち3つが辞退するという異常事態となりました。これで、果たして競争性が確保されたかという点、確保されたとはとても言えません。

よって、私たちは、公正で、競争性のある入札を求める立場から、本案に反対するものは、ユア

1100人の団員が参加し、上越市消防点検

上越市消防点検が23日、春日野駐車場にて行われ、消防団員1100人、消防車両23台が参加しました。心配した雨も降らず、当初の予定よりも30分ほど早く終了しました。

6月議会の一般質問では、橋爪議員などが消防団適正配置などについて質問、そのなかで市長点検などについても改善の取組が始まっていることが明らかにされました。

この日のプログラムでは、これまで行ってきた部隊訓練はなくなっていました。また、入場行進も少し簡素になった感じがしました。時間的には午後1時から5時半までかかりました。今後の動きを注視していきたいと思えます。

右の写真は小型ポンプ操法競技とドラゴンハイパー・コマンドユニットによる火災防御体制披露です。後者は放水こそされませんが、迫力満点のパフォーマンスが展開されました。



ヤマアジサイ、いま花盛りです。市内の山間部で見ることができます。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.631 2019年6月30日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

入札者	入札金額 (円)		
	第1回	第2回	第3回
ユアテック・城東電工JV	209,150,000	202,800,000	197,000,000
東光・電設JV	233,000,000	206,000,000	辞退
大和・共栄JV	238,000,000	207,000,000	辞退
田辺・水嶋JV	245,000,000	208,000,000	辞退